

「不易」と「流行」 誠実・克己・忠恕

～「() ついたのは 生きたからである」By 高見 順(詩人)～

「爆裂水晶」って知ってますか？

七個集めれば、願い事を叶えてくれる神龍を呼ぶことのできる、あの・・・
ドラゴンボールではありませんよ。右の写真がそうです。

爆裂水晶とは・・・外側から人工的に圧力をかけて、内側に**たくさんの傷**を入れた水晶です。「クラッククォーツ」とも呼ばれます。

では、どうぞ・・・



なぜ、わざわざ透明でクリアな水晶に、傷を入れるのでしょうか？・・・

傷が・・・光るからです！！

傷に光が当たると、七色の虹が出る。透明な水晶もちろんキレイですが、光は反射しません。

心も一緒じゃないでしょうか？

心に受けた傷。

でも、それがあなたを磨き、
あなたらしさを光らせてくれるのです。

「傷ついたのは・・・生きたからである。」By 高見 順(詩人)

そう・・・生きることは美しいのです。

娘が小学生の頃、一緒に勾玉を作るワークショップに参加した時の話です。

最初にマッチ箱みたいな四角い石を渡されて、それをやすりで磨いて勾玉にしていくんです。

その時・・・気付きました！

磨くって・・・実はやすりで傷をつけていく行為なんだって。

石に傷を何度もつけて磨き、なめらかな美しい勾玉にしていくのです。

僕が心理療法を学ばせてもらった矢野惣一郎先生は・・・

心が折れるたびに・・・どうすれば自分を大事にできるかを学び、

心がおれるたびに・・・心のことを深く理解し、

心がおれるたびに・・・人に優しくできるようになっていったそうです。

だから・・・心が折れそうなときは折れたっていいんだ。」

矢野先生は言います。

「一枚の紙が何回も折れて、美しい折り鶴になるように、

私たちの心も何回も折れて、立ち直ったつもりでも、また折れて、そんなことを繰り返して、
いつのまにか美しい人生ができあがるんだと思う。」

「世界一楽しくてためになる「幸せ」の授業」ひすい ことろう サンマーク文庫

悩んだ数だけ・・・傷ついた数だけ・・・心が折れた分だけ・・・

より繊細で・・・美しい・・・折り鶴になれるんですね。

「あのとき・・・悩ませてくれたありがとう。」

いつか・・・かならず・・・そう言える日が来る。

そう・・・「だいじょうぶ。」だよ。

体育祭お疲れ様でした！来週は10/9(木)は中間考査1週間前になりますので通心(信)はお休みしますね。

